

郵便はかき



手紙の
返事
は
早く
届く
こと
を
願
う

手紙
の
返
事
は
早
く
届
く
こ
と
を
願
う

手紙
の
返
事
は
早
く
届
く
こ
と
を
願
う



郵便はかき



東条先生
早稲
田平
氏

夏
同
全
云



三
六
日
ト
コ
タ
カ

こまめりい。三。おをきんは何んところあつて
 怒りつけ
 だんやい。はりやい。出来た。おのらぬ。来たら。のら。今
 ちんりの向にあはあければ。フクに。こやう。んだと。汗
 服の主人にはおねえ。強。強。強。た。由。に。い。三。一。を
 せんこと。よ。美。子。あ。る。ゆ。の。大。カ。バ。ン。を。た。の。ア。イ。ひ。た。ま
 せ。や。ト。これにも。又。訊。ん。れ。を。あ。い。た。う。次。や。人。に。ゆ
 せ。い。の。お。ね。え。を。買。ら。つ。た。ら。あ。る。が。い。て。お。り。や
 い。三。子。を。き。ん。と。い。ゆ。に。ま。り。い。の。本。年。も。て。る。あ

郵便はかき



平次

小宮

夏
園
全
王

此
後

手
書
女
込
早
知



手
紙

三、
おはあきはどころと想ふわ

洗車の中じり尻み人まのわ一回をお尻尻尻、Pの

多のあ、田縁と存じい。三やもま、とある、何にて

わうんわい。淋あーんい。もろ三十分はのり

またねは、あらあうい。夕立はギョーミ、一丁御

物も存じい。夏のもの、夏の縁々に洋、夏は替

物に、ゆびまひ。暑く、やりあわや、すすい、あ

あに、野たら、とつけた、ダブん、カラ、ア、汗の

お二、後で、べ、口には、あ、わ、い。は、あ、で、つ、け、か、え、か、い、の

例々お嬢さんのお話うらやまを承り候。

息子さんのお七半もまたおぼろしく由

心配の事なほ存候。

印行と申すにござり候。仰子と申すに

天井に上がった田舎の床の間の事をいふ

と用が先おつたやうに申す。天井の事

と云ふは腰をうらやまに申す。田舎